

（解答例）

1. 安全な飲料水の供給にはジレンマが付きものである。水源水中の微生物を殺すために塩素やフッ素で殺菌処理をすると、発がん性のあるトリハロメタンが生成する危険がある。同様に、南アジアで下痢を起こす細菌や原生動物が多い表層水でなく、そういう微生物の少ない深井戸の地下水を飲料水として用いるようになって暫くしてから大きな問題が起こった。それは何か？

地下水の流れが変わって、砒素を多く含む地層と接したために飲料水中の砒素濃度が上がり、慢性砒素中毒が多発した

2. 水道水の水質基準は水道法で定められていて厚生労働省が所管しているが、水質汚濁に関わる環境基準はどの省庁がどのように定めているか？

環境省が一律排水基準と公共用水域の水質汚濁に係わる環境基準を設定している

3. 工学的な水利用であっても水循環動態が変わることを通して人の健康に大きな影響が出る場合がある。何か例を挙げて説明せよ。

ダムと灌漑→貝の増加→住血吸虫流行

運河建設→極端な洪水のリスク→経済損失

排水管設置（下水の暗渠化）→野生の水鳥や魚の生息場所減少→経済損失、長期的にはヒトへの悪影響も？

- * 地球規模の水の枯渇問題を解決するにはどうしたら良いか？

（正解はありません）